

こんにちは

日本共産党市会議員

<議会報告>

玉本なるみ

です

連絡先：日本共産党北地区委員会

☎075 - 432 - 3261

2023年 8月②号



最初から3倍の負担金となっている敬老乗車証 交付申請書が届く

名古屋市に敬老パスの調査に行ってきましたので、京都市と比べました。名古屋市も利用回数を730回にする等改悪はされていますが、乗り継ぎ運賃の改善を検討されており、京都市よりも負担金も安く、対象が65歳～というのも素晴らしい！

	名古屋市	京都市
対象年齢	65歳～	71歳～（75歳までに引上げ）
負担金	1,000円～5,000円	9,000円～45,000円
利用制限	年間730回	所得が700万以上は対象外

つばやき：夏の学び No.1 「日本人女性の戦時性暴力はなぜ、語られなかったのか？」 日本人従軍慰安婦のお話

日本共産党の元参議院議員の吉川春子さんの講演があり参加しました。戦時中戦地に行く兵士のために慰安所が設置され、慰安婦として相手をさせられたことは記録や証言があります。しかし、多くは朝鮮や中国など証言が多く、日本人の証言はありません。そこに、ビルマの慰安所での日本人慰安婦の名簿を提供してくださる方があり、吉川さんは議員退任後に名簿の皆さんを訪ねられ、調査活動をされました。ただ1人も会うことができなかったとのこと。貧しさの中で遊郭に売られ、政府の要請の元、戦地に行かされ、戦後の保障もなく、記録も残されていない戦争の大きな傷跡です



残暑お見舞い申し上げます。

ほんとに暑い夏です！

熱中症警戒アラートも続出する夏、くれぐれもお気をつけください。台風の被害も全国各地であり、地球温暖化が進んでいることを実感されている方も多いかと思います。原発や火力発電ではなく、自然エネルギーを活用した政策を進めなくてはならないと思います。



つばやき：夏の学び No.2 生活保護の研修会の報告をします。

コロナの影響に物価高騰も加わり、困窮している家族の話には胸が締め付けられる思いでした。**食えることに困っているのです。**「卵や肉、野菜も果実が高くて買えない。米も高く、麺類が多くなる。」「食事も子どもを優先し、一日一食か二食にしている」という母親。大学生さんの話では、「子どもの頃、病院に行きたくても、**保険証がなく**、役所に「医療券」をその都度もらいに行かないといけなくて、母親にがまんを強いられた」と。**子どもの生きる権利**をまずは保障しないといけないし、**学びの保障**もお金の有る無しで区別するのではなく、平等に保障されなければならないと強く思いました。



アンテナ 甥っ子の結婚式の話

先日、私の妹の長男の結婚式がありました。新型コロナウイルスの影響で延期に延期を重ね、3年越しの結婚式でした。すでに入籍はしており、子どもは1歳半。親族だけの結婚式でしたが、心に残る式でした。よかったら、聞いてください。それは披露宴で思い出の写真を映しだし、参加者がエピソードを語るという企画の時でした。甥っ子はずっと野球に打ち込んできて、家族でいつも応援に行っていた時の写真に父親にマイクが渡されました。

高校野球の練習試合で、有名強豪校との試合があった時に、私の妹はぎっくり腰で応援に行ける状況じゃなかったそうです。でも、どうしても応援に行きたい」と言って、なんと夫さんが妹を背負って連れて行ったそうです。そして、大活躍だったというエピソードでした。



実はこの話には続きがあります。結婚式の最後に甥っ子の挨拶に「お母さんには、感謝しかない！先にお父さんに話されてしまったけど、体調が悪かったのに、応援に来てくれてほんとに嬉しかった」と涙を流し挨拶したのです。この親子の絆に触れ、感動！

そこで、自分の子育てはどうだったかな...。看護師の時も議員になってからも、仕事に必死で、子どもを二の次にしていたかもしれないと反省しきりでした。もう大人になっていますが、今からでも子ども達のことをしっかり応援しようと思えました。そして、何よりも、すべての子ども達に幸せに生きられる政治・社会にしたいと決意あらたにしています。

